



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 T Y K
 コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 牛込 伸隆
 (氏名) 北原 譲
 TEL 0572-22-8151

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,860	22.5	1,316	55.3	1,692	45.8	788	53.8
2020年3月期第3四半期	21,765	5.2	2,941	6.9	3,124	6.4	1,707	3.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,850百万円 (17.7%) 2020年3月期第3四半期 2,246百万円 (148.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	17.85	
2020年3月期第3四半期	38.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	42,956	33,584	68.0	661.54
2020年3月期	42,093	32,037	66.5	633.85

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 29,225百万円 2020年3月期 27,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		3.00		3.00	6.00
2021年3月期		2.00			
2021年3月期(予想)				2.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,380	20.1	1,600	51.8	2,010	42.5	980	27.1	22.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	45,477,000 株	2020年3月期	45,477,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	1,299,712 株	2020年3月期	1,346,971 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	44,150,490 株	2020年3月期3Q	44,339,982 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期3Q 255,200株、2020年3月期302,500株)が含まれております。また株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期3Q 282,015株、2020年3月期3Q 株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)におけるわが国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)拡大の影響で景気が急速に悪化しました。日本国内では、緊急事態宣言の影響を受け経済活動が停滞したものの、その後持ち直しの動きが一部見られますが、感染症の再拡大の懸念などもあり、当面は厳しい状況が継続するものと考えられます。世界経済においては中国経済が堅調に回復しているものの、世界全体では感染症が拡大しているほか、世界的な保護貿易主義の高まりや地政学リスク等の経済・鉄鋼需要の下振れリスクがあることから、不安定な状況が継続するものと思われま。耐火物の最大の需要先である鉄鋼業界におきましても、自動車分野で工場の稼働再開により持ち直し基調にあるものの国内鉄鋼市場は総じて弱く、感染症の影響などもあり、先行きの見通せない状況が継続することが考えられます。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先であります国内鉄鋼業界における当第3四半期連結累計期間の粗鋼生産量は前年同期比20.5%減の5,908万トンとなりました。

このような環境の中で、2020年度に当社グループが掲げたテーマ「厳しい環境にこそ成長のチャンスがある！」と当社の大切なスピリットである「お客様への誠意」、「新しい技術への挑戦」の考えのもと、品質向上・技術力強化に努め、生産性の向上に取り組んでまいりました。在宅勤務や社内及び取引先との会議方法変更等、感染症対策を導入しながらコスト削減などの経営合理化にも努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、国内外の鉄鋼業界の減産に伴う耐火物の需要減により、168億60百万円(前年同期比22.5%減)となりました。

利益面では、売上高の減少や売上原価率の上昇などにより、営業利益は13億16百万円(前年同期比55.3%減)、経常利益は16億92百万円(前年同期比45.8%減)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億88百万円(前年同期比53.8%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次の通りであります。

①日本

国内の売上高は鉄鋼業界の減産に伴う耐火物需要減の影響を受け、134億89百万円(前年同期比20.5%減)となりました。売上高減少や売上原価率の上昇を受け、セグメント利益は15億17百万円(前年同期比48.7%減)となりました。

②北米

北米の売上高は鉄鋼業界の減産に伴う耐火物需要減の影響を受け、13億48百万円(前年同期比21.6%減)となりました。売上高減少は見られたもののコスト削減などにより、セグメント損失は19百万円(前年同期は24百万円の損失)にとどまりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高はロックダウンや鉄鋼業界の減産に伴う耐火物需要減の影響を受け、13億41百万円(前年同期比42.0%減)となりました。国内と同様に売上高減少や売上原価率の上昇を受け、セグメント利益は48百万円(前年同期比78.8%減)となりました。

④アジア

アジアの売上高は鉄鋼業界の減産が一部で見られたものの販売先や販売構成の変化もあり、4億26百万円(前年同期比5.1%増)となりました。セグメント利益は38百万円(前年同期比70.6%増)となりました。

⑤その他

その他の売上高は感染症拡大の影響を大きく受け、2億53百万円(前年同期比30.1%減)となりました。また、セグメント利益は5百万円(前年同期比94.7%減)となりました。

(2) 財政状態の状況

(流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ、76百万円増加し、266億92百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ、7億86百万円増加し、162億64百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価による増加であります。

(負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ、6億84百万円減少し、93億71百万円となりました。これは主に賞与引当金の減少、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ、15億47百万円増加し、335億84百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,624,404	12,705,303
受取手形及び売掛金	8,033,818	6,467,157
製品及び外注品	3,611,248	3,415,191
仕掛品	1,502,711	1,512,074
原材料及び貯蔵品	2,725,733	2,393,345
その他	134,456	215,755
貸倒引当金	△16,234	△16,207
流動資産合計	26,616,138	26,692,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,015,755	2,054,744
窯炉、機械装置及び運搬具（純額）	2,381,516	2,619,667
土地	4,803,714	4,839,998
その他（純額）	763,267	541,498
有形固定資産合計	9,964,253	10,055,909
無形固定資産	64,526	85,023
投資その他の資産		
投資有価証券	4,804,785	5,733,600
長期貸付金	730	320
繰延税金資産	524,674	270,337
その他	195,024	188,094
貸倒引当金	△76,162	△69,112
投資その他の資産合計	5,449,051	6,123,239
固定資産合計	15,477,832	16,264,172
資産合計	42,093,971	42,956,791

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,425,794	1,227,068
短期借入金	3,942,994	3,949,872
未払法人税等	353,598	227,214
賞与引当金	546,841	195,891
その他	1,228,424	1,079,189
流動負債合計	7,497,652	6,679,237
固定負債		
長期借入金	99,515	87,548
繰延税金負債	—	42,841
役員退職慰労引当金	776,608	808,433
退職給付に係る負債	1,623,512	1,685,400
その他	59,192	68,441
固定負債合計	2,558,827	2,692,665
負債合計	10,056,480	9,371,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,491,092	2,491,092
利益剰余金	23,004,754	23,570,685
自己株式	△338,563	△323,203
株主資本合計	27,555,283	28,136,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	637,495	1,274,031
繰延ヘッジ損益	—	387
為替換算調整勘定	△220,858	△185,730
その他の包括利益累計額合計	416,637	1,088,689
非支配株主持分	4,065,569	4,359,625
純資産合計	32,037,490	33,584,888
負債純資産合計	42,093,971	42,956,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	21,765,325	16,860,189
売上原価	15,710,647	12,680,162
売上総利益	6,054,677	4,180,026
販売費及び一般管理費	3,113,351	2,863,980
営業利益	2,941,325	1,316,046
営業外収益		
受取利息	2,858	1,905
受取配当金	178,787	134,041
不動産賃貸料	61,240	60,914
為替差益	—	1,288
助成金収入	1,273	184,376
その他	33,914	28,426
営業外収益合計	278,074	410,953
営業外費用		
支払利息	26,649	24,191
不動産賃貸原価	8,026	7,999
為替差損	57,394	—
その他	3,176	2,385
営業外費用合計	95,247	34,576
経常利益	3,124,153	1,692,423
特別利益		
固定資産売却益	900	1,677
ゴルフ会員権売却益	—	1,141
貸倒引当金戻入額	86	—
損害補償損失引当金戻入額	109,251	—
特別利益合計	110,237	2,818
特別損失		
固定資産廃棄損	25,805	18,466
投資有価証券売却損	104	0
投資有価証券評価損	1,385	—
ゴルフ会員権評価損	—	650
損害賠償金	14,975	—
特別損失合計	42,270	19,116
税金等調整前四半期純利益	3,192,119	1,676,125
法人税等	990,529	517,975
四半期純利益	2,201,590	1,158,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	493,951	370,056
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,707,639	788,093

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,201,590	1,158,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,747	637,236
繰延ヘッジ損益	△593	387
為替換算調整勘定	△17,855	54,234
その他の包括利益合計	45,298	691,858
四半期包括利益	2,246,888	1,850,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,753,622	1,460,145
非支配株主に係る四半期包括利益	493,266	389,863

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,963,975	1,720,026	2,312,712	405,501	21,402,215	363,110	21,765,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,131,112	1,420	67,652	103,421	2,303,605	816,649	3,120,255
計	19,095,087	1,721,446	2,380,364	508,922	23,705,821	1,179,759	24,885,580
セグメント利益又は損失(△)	2,955,788	△24,050	230,227	22,357	3,184,322	111,574	3,295,897

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,184,322
「その他」の区分の利益	111,574
セグメント間取引消去	△29,808
全社費用(注)	△324,763
四半期連結損益計算書の営業利益	2,941,325

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,489,934	1,348,666	1,341,471	426,373	16,606,446	253,743	16,860,189
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,258,805	—	36,476	45,587	1,340,868	626,693	1,967,562
計	14,748,739	1,348,666	1,377,947	471,960	17,947,314	880,436	18,827,751
セグメント利益又は損失(△)	1,517,309	△19,518	48,697	38,141	1,584,629	5,904	1,590,533

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,584,629
「その他」の区分の利益	5,904
セグメント間取引消去	53,971
全社費用(注)	△328,459
四半期連結損益計算書の営業利益	1,316,046

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。